

大阪にある平和資料館は「ピースおおさか」だけではありません！

府内4つの平和資料館が一堂に会する 初めての特別展

今回の特別展は、堺市、吹田市、豊中市にある3つの平和資料館との連携企画です。各地域にはどのような平和資料館があるのか、その内容や取り組みなどを展示しています。また、大阪を飛び出し、滋賀県平和祈念館、人道の港 敦賀ムゼウム、姫路市平和資料館、舞鶴引揚記念館といった関西圏にある平和資料館についても紹介しています。平和資料館を知ることから、各地域の歴史に触れてみませんか。



ピースおおさか 1階展示室

新作アニメ

「どうぶつたちのねがい 戦争中の天王寺動物園」完成!!

戦時中の動物園、ひとりの飼育員とヒョウの物語

戦時中、空襲で動物たちが逃げ出す危険を未然に防ぐために、動物園では猛獣の殺処分が行われました。大阪にある天王寺動物園も例外ではありませんでした。ピースおおさかでは、天王寺動物園での実話をもとに、約30年ぶりとなる新作アニメを制作しました。アニメは、定時映画として館内上映を行っています。



「ピースおおさか」とは?

大阪城公園内にある「大阪空襲を語り継ぐ平和ミュージアム」です。太平洋戦争末期、大阪には50回を超える空襲があり、大阪府内では行方不明者を含めて約1万5千人の犠牲者が出たといわれています。館内には、大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場「刻の庭」(ときのにわ)もあります。

映画上映会などのイベントも随時開催中!!
詳細はピースおおさかのホームページで!
Twitter や Facebook でも最新情報を発信しています!

公式 Twitter
@oipc0917



ピースバード

公式 Facebook
@oipc0917



おすすめ
コレクション

大阪くらしの今昔館 住吉まゐり

新年を迎え、住吉社に参詣する江戸時代の人々の様子を扇面に描いた一幅。作者の菅橋彦(1878~1963)は鳥取県出身の画家で、大坂の庶民風俗を主題にした情趣ある作品を数多く制作したことで知られています。画中にはキセルを手に歩く子連れ男性や、駕籠に乗る女性とその侍女といった老若男女が簡潔な線描と明快な色調で表現されています。また正月の風景らしく、駕籠の屋根や人々の手には商売繁盛の縁起物である福笹が確認できます。この福笹には、赤・青・緑の人形をつけた風流傘が吊るされており、同社の伝統舞踊である「住吉踊」にちなんだ飾りであることが読み取れます。

※今回紹介した資料は、大阪くらしの今昔館の企画展「なにわを語る 明治・大正・昭和の絵葉書」の関連資料として12月18日まで展示しています 最新情報はホームページにてご確認ください。



菅橋彦 <住吉まゐり> 大阪くらしの今昔館蔵

住所 〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20 住まい情報センタービル8階 TEL 06-6242-1170 FAX 06-6354-8601 ホームページ <https://www.osaka-angenet.jp/konjyakukan> アクセス ●Osaka Metro堺筋線・谷町線、阪急「天神橋筋六丁目」駅下車、3番出口直結 ●JR「天満」駅から北へ650m

大阪市立の博物館・美術館・動物園 **Osaka Museums** <https://museums.ocm.osaka>

- 大阪歴史博物館
- 大阪城天守閣
- 大阪市立自然史博物館
- 大阪市立美術館
- 大阪市立東洋陶磁美術館
- 大阪市文化財協会
- 大阪市立科学館
- 天王寺動物園
- 大阪中之島美術館
- 大阪くらしの今昔館